

## ゲレンデ：野沢温泉スキー場

- ◆日程 2020年1月25日(土)～26日(日)
- ◆メンバー L：小林(義)、前田、山中、大山、西山
- ◆天候 晴れ

金曜日夜発、前田号は小林、大山を載せAM2:00前に到着、炬燵に入り前夜祭。土曜日の朝食をしっかりと取り万全の体制でリフト券売り場へ。これが長蛇の列、我々の後に並ぶ人は少なく並んだ時間も最悪のようだった。今年の雪の少なさで開く事が出来ないスキー場が多く、野沢温泉に集まっているのだろう。リフト券購入に手間取っているうちに朝発の西山さんと合流できた。さらに人から頂いたリフト券が無効でゲートが開かない、係の人と確認や購入の為、時間を喰う。やっと4人でゴンドラに乗り終点のやまびこ駅に到着。ここまで長い道のりだった。

最初は上の平ゲレンデの緩斜面を慣らしで滑る。バランス確認をしているとボーダーの50-60歳位のおじさんが右横から私に衝突、山スキー用のストックを折られてしまう。速度は出ていないので怪我は全くない。ストックのレンタルを借りに私だけ下山、考えると伸縮式なのでストックが突ける事に気づく。レンタルを止め合流、毛無山から4人で滑る。

昼食で上の平山荘に行くが混んでオーダーストップ、太郎小屋に移動し食事を取る。午後の部は2グループに分けて滑るが私はリフト券を紛失、最初の食堂で回収できた。最後は3.5kmのスカイラインコースを滑り宿に戻る。温泉とビール、部屋に帰り炬燵に入りながら極楽気分を一日を締めた。本当にアクシデントの多発した日だった。

二日目のゲレンデは山中さんが加わり5人、昨日滑っていないコースを滑った。二日目とあってスキーバランスも良くなり全員、昨日とは雲泥の差の滑りを披露、スキー板に乗れるようになる。その後、昼食を1時過ぎ上の平山荘として2グループに別れた。

私でも山スキーを想定した事ならなんとか教えられる。小林、西山は山スキー想定練習を湯の峰ゲレンデ緩斜面で行なう。プルークでのスキー操作、横滑り、斜滑降、キックターン、斜滑降-横滑りからシュテムターンの連続動作、スキーを揃えた滑りを練習した。食事の前に中級コースのチャレンジに移動、ここは最下部が浅めのコブとなっている。12:45頃西山さんはコブで転倒し左膝の靭帯損傷となってしまった。転倒した時に音がしたと言う。

ここで中止、先ず3人に電話で事情を話す。我々は林道を5分程滑り下のゴンドラ駅へ、レンタルスキーを返却、車の迎えをお願いし宿に戻り、氷で冷やす。少し急な斜面を山スキーではどのように安全に下りるか、のおさらいで行った場所で西山さんの怪我になってしまった。私は先に滑るのでなく、急な所は横についているべきだったと思う。先に行かれると意識しない焦りが少なからずあるものだ。手術の必要な怪我となり申し訳ない事である。

山中さんは連泊すると言い、4人で帰途につく。今回、アクシデント多発のゲレンデスキーだが宿の食事も美味しく特別価格で対応してくれた。また企画したいと思う。西山さんには楽しいスキーが申し訳ない結果となったが、時間はかかっても完全に治癒して頂きたいと思う。

(記：小林)